

# ひまわり在宅ケアステーション

佐々木 恵子

功 績	勤続20年、長年に渡り常勤～嘱託職員として勤務し、常に前向きに働きやすい環境を整備を行ってくれた事、ご利用者からの信頼も厚く、誠実で親身な対応を実践してきてくれた事への功績
推 薦 者	所長 佐藤俊之
推 薦 理 由	長年どんな時でも前向きな姿勢で自分自身の役割りを全うし、他の職員への思いやり、ご利用者への親身な対応をして在宅ケアステーションに大きく貢献した事例として佐々木恵子さんを理事長賞候補に推薦いたします。

## 内 容

---

今月で佐々木さんは在宅ケアステーションに入職して20年が経過します。現在68歳ですが嘱託として常勤職員同様にフルタイムで勤務。60歳になるまではサービス提供責任者として利用者の受け入れやサービス調整、他の職員の教育・指導など最前線で活動。60歳を過ぎてからは嘱託職員として勤務していますが現在でも1日の稼働件数は誰よりも多く、日々の業務の中でもほかの職員のサポートや目が行き届かないところでのサポートを地道に継続して行ってくれています。豊富な介護経験から現在のサービス提供責任者への助言、自分の考えも取り入れ助言するので職員からはもちろん、ご利用者からの人望も厚く、「佐々木さんが訪問してくれれば安心、佐々木さんに訪問してもらいたい」と言われる事が多々あります。それは、なあなあな介護の関わり方ではなく、しっかりとした誠実で親身な対応をしてきたからこそだと感じます。

自ら先頭を切って前に出るタイプではありませんが、与えられた役割だけでなく、職員が働きやすいように常に環境の整備など気づいた時に行ってくれています。

最近ではICTの取り組みとして「在宅アンバサダー」に就任、在宅ケア内の年配職員の先駆けとして自分がICTの指導ができるように、苦手分野でありながらも自ら学び、わからない・できない職員への教育・指導を行ってくれています。

日々の健康管理にも気を付け、休みの日には山登りや体力づくりなどを継続し、約20年間病欠などの欠勤がほとんどありませんでした。車を運転しご利用者宅へ伺い限られた時間で言う業務は施設内とは違った体力が必要な仕事です。そんな中、常勤以上に1日7～8件訪問を健康で休まずこなしていく姿は、職員の鏡であり、効率的な働き方を目指す在宅ケアステーションの経営にも大きく貢献してくれています。